

1. 授業のねらい・概要

スポーツマネジメントと言えば、アメリカ合衆国が非常に発展しており、本研修ではハードとして UCLA 施設やドジャースタジアムなどを視察する。またソフト面では、どのような運営を行っているかを学ぶ。さらにオプショナルで NBA を観戦するなどして、実際にハードとソフトがどのように観客動員やリピーターの創出を実現させているかを体験し、学ぶことができる。さらに、本研修では、アメリカの科学的トレーニング実践に関しても体験する。アメリカの科学的トレーニングは世界をリードしており、選手のコンディショニングに関して、その理論と実践は選手としても、またトレーナー等を目指す者としても貴重な体験となるだろう。

2. 授業の進め方

後期期間中に計3回の事前授業を実施し、2月または3月にロサンゼルスへ渡航する。ドジャース・スタジアム、UCLA 施設にて、研修を行い、また EXOS スポーツジムにて、事前授業内で決定したトピックに関する講義およびスポーツトレーニングの実践を体験する。帰国直後にレポートを提出。

3. 授業計画

①11月,12月,1月に計3回の事前授業として、海外渡航に関する注意喚起、視察箇所に関する事前知識、ESTA、旅行保険加入の手続き、英語等に関する講義。	③その他、ドジャースタジアム、UCLA 施設を視察。
②研修期間は5泊7日とし、EXOS スポーツトレーニングジムにて、1コマの講義とスポーツトレーニング体験を受講。	④帰国後にレポートを提出。

4. 到達目標

日本と外国のスポーツマネジメントに関する違いや最先端のトレーニング理論に関する知識を得ることを目標とする。

5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

パスポートや ESTA、旅行保険、キャッシュカードなどの取得に関して、期限を設けているため、その期限までに各自しっかりと準備すること。また、渡航先の文化、気候、地理的情報等に関して調べておくこと。日本国籍以外で米国入国に際し、ビザが必要な学生は夏休み中に取得すること。後期授業開始時に取得済みもしくは取得見込と認められないものは、当該年度の参加を諦めてもらうことがある。

6. 成績評価の方法・基準

事前授業の受講態度、各施設視察、レクチャー、トレーニング体験などへの積極性、帰国後レポートの提出にて総合的に評価する。

7. テキスト・参考文献

事前授業や現地各地で配布される資料を用いる。

8. 受講上の留意事項

①詳細は別途告知するが、予定としては、後期が始まったらすぐに説明会を実施する。費用は渡航費、宿泊費、各種施設研修費であり、合計で 24.6 万円（2014 年度 27 名）、23.4 万円（2015 年度 20 名）、27.7 万円（2017 年度 13 名）であった（参加人数、為替の変動等で変更の可能性あり、また飲食費・遊興費等は除く）。

- ②現地には NBA レイカーズ, クリッパーズの本拠地ステープルズ・センターがあり, オプション(追加費用)で NBA ゲーム観戦を行う(事前授業でチケットをインターネット購入する)。
- ③最小催行人数は 10 名であり, それに満たない場合は実施されない。